

8 産婦人科

基本研修（1ヵ月）

（1）一般目標

婦人科疾患を持った患者や妊娠中の患者を適切に管理できるようになるため、妊娠分娩と婦人科疾患の基本的な検査・診断・治療と問題点解決力及び技術・態度を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の習得

《産科》

- ①正常分娩の介助ができる。
- ②異常分娩、分娩、産褥の治療計画を立てることができる。
- ③妊、産、褥婦の薬物療法と意義を理解している。
- ④異常分娩、分娩、産褥の治療計画を立てることができる。
- ⑤妊、産、褥婦の薬物療法と意義を理解している。
- ⑥周産期感染症の診断、治療ができる。
- ⑦正確な全身所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑧正確な外診所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑨分娩の、各段階に応じて正確な内診所見をとることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑩妊娠中の血液検査、尿検査の変化を知っており、その結果を評価できる。
- ⑪妊婦検診で実施される検査について、その意義を理解できる。
- ⑫妊娠各期の超音波断層法の検査ができる。
- ⑬分娩前、分娩中の胎児心拍数監視（fetal heart rate monitoring）が評価でき、それを他の医療者に伝えることができる。
- ⑭産科手術の適応を理解している。
- ⑮会陰切開、縫合の介助ができる。
- ⑯会陰、膣壁裂傷縫合の介助ができる。

《婦人科》

- ①子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮脱、不正性器出血、骨盤内感染症の診断、治療計画を立てることができる。
- ②子宮癌、卵巣癌、などの診断計画を立てることができる。
- ③婦人科救急疾患の診断治療計画を立てることができる。
- ④正確な全身所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑤正確な外診所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑥正確な内診所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑦膣分泌物検査が実施でき、その評価をすることができる。
- ⑧婦人科超音波を実施でき、その評価をすることができる。
- ⑨婦人科におけるCT、MRIの意義を理解できる。
- ⑩手術の適応について理解している。
- ⑪手術のリスクを評価できる。
- ⑫術前術後管理を行うことができる。
- ⑬後後合併症の診断ができる。

2）治療の実践

- ①入院患者を受け持ち、指導医または上級医の指導のもと正常分娩や治療の介助を行う。また病棟のカンファレンスに参加し、診療方針の検討を行う。
- ②外来の診療に立ち会い、指導医または上級医の指導のもと、妊婦や患者の状態を診て診断する。

③手術に立ち会い、指導医または上級医の指導のもと、基本的な手技を行う。

選択研修（1ヵ月以上）

（1）一般目標

婦人科疾患を持った患者や妊娠中の患者を適切に管理できるようになるため、妊娠分娩と婦人科疾患の基本的な検査・診断・治療と問題点解決力及び技術・態度を習得する。

（2）行動目標と実践（OJT）

1）診断力の向上

《産科》

- ①正常妊娠、分娩、産褥の治療計画を立て、実行できる。
- ②正常分娩の介助ができる。
- ③異常分娩、分娩、産褥の治療計画をたて実行できる。
- ④妊、産、褥婦の薬物療法と意義と限界を理解している。
- ⑤周産期感染症の診断、治療、予防ができる。
- ⑥正確な全身所見をとることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑦正確な外診所見をとることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑧妊娠、分娩の、各段階に応じて正確な内診所見をとることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑨妊娠中の血液検査、尿検査の変化を知っており、その結果を評価できる。
- ⑩妊婦検診で実施される検査について、その意義を理解しており結果が評価できる。
- ⑪妊娠各期の超音波断層法の検査の実際と評価ができる。
- ⑫分娩前、分娩中の胎児心拍数監視（fetal heart rate monitoring）が評価でき、それを他の医療者に伝えることができる。
- ⑬羊水量測定の方法と意義を理解しており、実際に測定、評価ができる。
- ⑭羊水検査の意義、方法について理解ができる。
- ⑮産科手術の適応を理解している。
- ⑯帝王切開術の介助ができる。
- ⑰会陰切開を行い、それを縫合することができる。
- ⑱会陰、膣壁裂傷縫合ができる。

《婦人科》

- ①子宮筋腫、卵巣嚢腫、不正性器出血、骨盤内感染症。更年期障害などの診断、治療計画を立てることができる。
- ②外陰膣炎、性感染症、月経不順などの診断、治療計画を立てることができる。
- ③子宮癌、卵巣癌、子宮脱、子宮奇形などの診断治療計画を立てることができる。
- ④婦人科救急疾患の診断治療計画を立てることができる。
- ⑤婦人科心身症の診断、治療計画を立てることができる。
- ⑥正確な全身所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑦正確な外診所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑧正確な内診所見を取ることができ、それをその他の医療者に報告できる。
- ⑨膣分泌物検査、頸管粘液検査が実施でき、その評価をすることができる。
- ⑩婦人科超音波を実施でき、その評価をすることができる。
- ⑪婦人科におけるCT、MRIの意義を理解しており主要病変を読影できる。
- ⑫手術の適応について理解している。
- ⑬腹式単純子宮全摘術の介助ができる。
- ⑭手術のリスクを評価できる。
- ⑮術前術後管理を行うことができる。

⑩後後合併症の診断治療ができる。

2) 治療の実践

- ①入院患者を受け持ち、指導医または上級医の指導のもと、妊婦や患者の治療を行う。
- ②外来の診療に立ち会い、指導医または上級医の指導のもと、妊婦や患者の状態を診て診断する。
- ③手術に立ち会い、指導医または上級医の指導のもと、基本的な手技を行う。

【標準的週間スケジュール】

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来研修 病棟研修 手術	外来研修 病棟研修 手術	外来研修 病棟研修 手術	外来研修 病棟研修	外来研修 病棟研修 手術
午後	外来研修	手術	外来研修	外来研修	手術

術前カンファレンスに参加

毎週水曜日午前 8 時からの症例カンファレンスに参加

病棟カンファレンス（月 1 回、コメディカル含む）に参加